

第2学年生活科学学習活動案

日時 平成15年9月9日(火) 5校時
児童 2年2組 男19名 女15名 計34名
指導者 田中 京子
場所 2年2組教室 2階家庭科室

- 1 小単元名 「まちのなぞなぞしりたいね」
(大単元 とびだせ!たんぼぼたんけんたい)

2 小単元の目標

◎主目標

地域の探検を通して、自分の住んでいるまちのよさや自分の生活と地域とのかかわりなどに気づき、進んで人と接し、地域に親しみをもつ。

○観点別目標

《生活科の関心・意欲・態度》

- ・探検を通して人々と進んでかかわろうとすることができる。

《活動や体験についての思考・表現》

- ・探検を通して人々とかかわりながら、自分たちの生活が地域の人々や様々な場所とかかわっていることが分かる。
- ・探検で見つけてきたことや分かったことをなぞなぞにして表現することができる。

《身近な環境や自分についての気づき》

- ・公共物や公共施設はみんなのものであることや、それを支えている人々がいることに気付くことができる。

3 小単元について

(1) 子どもの育ち

子どもたちは1年生の「あそぼう・たかまつのいけ」では、身近な自然である高松の池を通して四季折々の植物や昆虫を見つけたり、遊び方を工夫したり、体を元気に動かしたりして自然とふれあい、親しんできた。「あそぼうともだち」では、遊びを通して学級の友達から学年の友達へ、地域のお年寄りや日本語学級のお友達へとふれあう人々の輪を広げ、仲良くなってきた。これらの活動を通して、友達や関わる人々とよりかかわろうとしたり、草花や生き物に興味・関心をもってかかわったりすることができるようになってきた。

1学期「なかよくなりたいたいね」では、高松の池から活動範囲を広げ、上田のまち(学区)を全員で探検したり、グループで探検したりした。このことから、上田のまちには、いろいろな場所があることが分かり、「もっと知りたい。」「行ってみたい。」と思ったり、友達と一緒にグループで活動することの楽しさを感じたりしている。

普段の子どもたちの様子を見ていると、学校では友達と誘い合って外で体を動かすなど

のびのびと活動しているものの、帰宅してからは、家で一人遊びをするなど、自宅と学校の狭い範囲の中で生活している子もいる。そのため地域にたくさんの公共施設などがあることに気付かなかつたり、あることは知っていても利用したことがなかつたりと個人差がある。また、地域の人とのかかわりにおいて、話し方などの接し方に戸惑いを覚えている子もいる。

自然や友達と多くふれあい学校生活にも慣れてきたこの時期の子どもたちに、身近な生活の場である「上田」に出て、様々な人々や場所と接することを通して、それらが自分の生活にかかわっていることが分かつたり、上田のまちのよさを感じ取り大好きになつたりするようしていきたい。また、これらの体験を通して、そのような場での行動の仕方や話し方などを身につけさせたい。

(2) 生活科全体単元構想図の中の位置づけ

2年生の生活科は、本小単元「まちのなぞなぞしりたいね」を含む「とびだせ！たんぼぼたんけんたい」と「ふしぎみつけないね」「みんなでそだてたいね」の3つの大単元から成る。本大単元「とびだせ！たんぼぼたんけんたい」では、主に生活科の内容(3)「自分たちの生活は地域の人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみをもち、人々と適切に接すること」や(4)「公共物や公共施設はみんなのものであることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用すること」ができることをねらいとしている。自分たちが住んでいる上田のまちや身近な自然である高松の池で、そこに関わる人々やその場所で見たり、聞いたり、やってみたり、楽しかったことや気付いたことを表現したりする活動を通して、自分の住んでいるまちのよさを感じたり、自分の生活と地域とのかかわりに気付いたりしながら、進んで人とかかわる子を育てたいと考える。

1学期の「なかよくなりたいたいね」は、上田のまちをみんなで探検することから始まる。行き帰りの安全のきまりを考えながら探検し、その場の様子をよく観察したり、話を聞いたりしながら上田のまちのだいたいの様子を知る。この経験から、もっと知りたい場所や興味がある場所に、グループで出かけ、分かったことをグループごとに紙芝居や劇などに表し、発表した。発表会の活動を通して高まった「もっと上田のまちを知りたい。もっといろいろなことを探検したい。」という子どもたちの気持ちを大切に、本単元へとつなげてきた。

2学期の「まちのなぞなぞしりたいね」では、自分が調べたい、行ってみたいと思った上田のまちの公共施設などを訪ね、そこで働く人々や利用する人々とふれあう。子どもの意欲を高め、目的意識をもって探検に臨むために、一学期に子どもたちが楽しんで取り組んだり、やってみたいと思つたりしていたなぞなぞ作りをするという活動を取り入れる。教師のなぞなぞを参考に場所、役割、人物など、探検で調べたことや楽しかったこと、気付いたことなどを写真、音声、映像など表し方を工夫しながらなぞなぞを作らせたい。そして、楽しみながら互いになぞなぞを出し合うことで、自分たちの住むまち「上田」のよさにも目を向けられるようしていきたい。また、探検での人々との出会いを大切にしながら、地域に親しみをもち、人々と適切に接したり、安全に公共施設等を利用しようとしていたりする子を育てていきたい。

2 学年生活科単元構想図

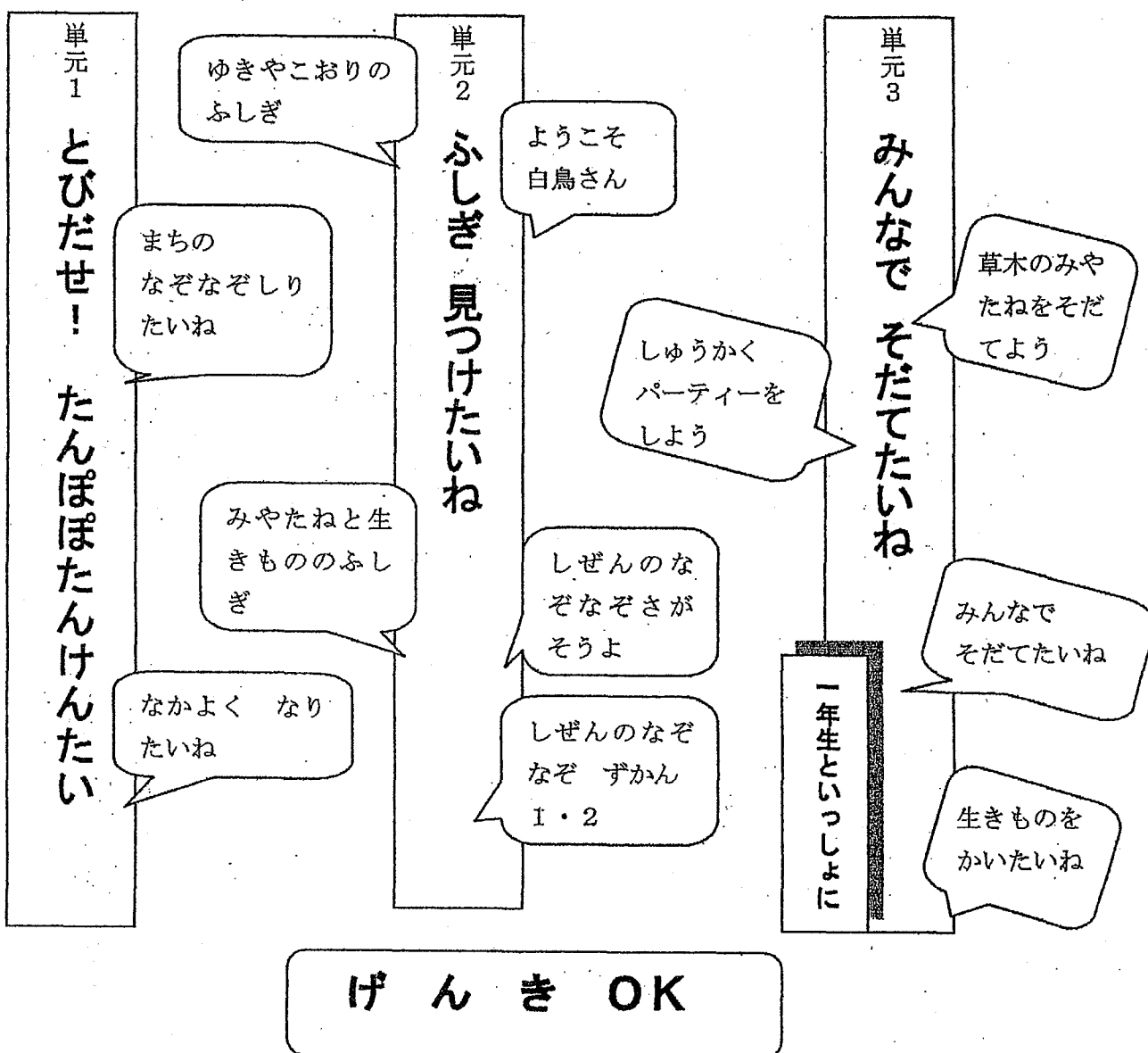
気づきを広げ、いろいろな方法で表現する子

身近な人・社会・自然と進んでかかわり合いながら

単元4 じぶんのたんぽぽの花をさかせよう

いえでもたのしみたいね

すてきなじぶんをしてほしい



第2学年生活科年間単元計画

単元1 「とびだせ!たんぼぼたんけんたい」

・身近な自然、社会から、少し離れた人や自然、社会にふれ親しんだり進んで関わったりすることができる。

単元2 「ふしぎ 見つけたいね」

・身近な草木や虫の様子を調べる活動を通して、季節の様子や生きものの様子、変化の不思議に関心をもつことができる。

単元3 「みんなで そだてたいね」

・ウサギの世話やふれあい、野菜の栽培や収穫を通して、様々な命の存在に気づき、命を大切にすることができる。

単元4 「じぶんのたんぼぼの花をさかせよう」

・自分自身や自分の生活についてふりかえる活動を通して、自分の成長を感じ、感謝の気持ちや3年生進級への意欲をもつことができる。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
年間		自分のたんぼぼの花をさかせよう						たんぼぼたんけんたい			友達のだんぼぼといっしょに根をのぼそう									
学期		はっけん!チャレンジ!						みんなてだんけん!			3年生に向かって花ひらくために大きくなったよ!									
生活科		「とびだせ!たんぼぼたんけんたい ~町たんけんのまき~」						「とびだせ!たんぼぼたんけんたい~まちのなぞなぞしりたいね~」			「じぶんのたんぼぼの花をさかせよう」									
単元名		「みんなで そだてたいね」						「みんなで そだてたいね」「おまつりしよう!」			「みんなで そだてたいね」									
小単元と主なねらい	人	「ほかよくなりたいね」 ・上田学区の人や自然、社会にふれ、慣れ親しむことができる。 ・自分たちが立てた計画をもとに、安全に気をつけて実践することができる。						「まちのなぞなぞしりたいね」 ・地域の探検を通して、自分の住んでいるまちのよさや自分の生活と地域とのかわりなどに気持ちよくなり、人と接し、地域に慣れ親しむ。			「いえでもたしめたいね」 ・家庭生活を支えている家族のことや自分ができるようになったことなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすこととする意欲を育てる。			「すてきなひんをわけてほしい」 ・多くの人の支えにより、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかり、これまでの成長や生活を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これからの成長への意欲をもって、積極的に生活することができるようにする。						
	社会	「ほかよくなりたいね」 ・上田学区の人や自然、社会にふれ、慣れ親しむことができる。 ・自分たちが立てた計画をもとに、安全に気をつけて実践することができる。						「まちのなぞなぞしりたいね」 ・地域の探検を通して、自分の住んでいるまちのよさや自分の生活と地域とのかわりなどに気持ちよくなり、人と接し、地域に慣れ親しむ。												
	育てる	「生きものをかいたいね」 ・1年間自分たちが関わっていくウサギの世話や観察の仕方を知ることができる。 ・生き物の命を大切にすることができる。						「みんなでそだてたいね」 ・たんぼぼ畑に植える野菜を決め、たくさんの収穫ができるように世話をすることができる。 ・花を一人一軒で育てて成長の様子を観察する。			「生きものをかいたいね」 ・安心の生き物の世話をして育て、その成長の様子に慣れ親しむとともに、自分たちと同じように成長し、生きていく事に気づき、生き物への愛しみと命を大切にすることができるようになる。			「しょうかくパーティーをしよう」 ・自分たちが育ててきた野菜の収穫を喜び、感謝の気持ちをもちつととも、その喜びをパーティーで表現する計画を立て、協力して準備することができるようにする。			「樹木のみやだねをそだてよう」 ・どんぐりなどの木の葉を集めて、それを集めてみる活動を通して、自然の草木の美しさが次の命につながっていくことに気づくようにする。			
	自然	「しぜんのだぞぞすひん!」 ・身近にある花やそこにまいている虫を見て、虫の動きに興味を持ちながら虫の動きの様子や、花の子や生き物の様子、変化の不思議に興味をもてるようにする。(校外)						「しぜんのだぞぞさかそうよ」 ・身近な地域の自然について調べたり、人に教えてもらったりする活動を通して季節の変わりや生き物の様子、変化の不思議に興味をもてるようにする。			「みやだねと生きものふしぎ」 ・秋庭や野原の草木の美しさについて様子やそこにまいている虫や葉などが、それらをえさとしていることを見つけ、夏から自然の様子が変わってきたりする事や生き物が草木に関わりがあることに気づくようにする。			「ようこそ、白鳥さん」 ・今年もやってきた白鳥に興味を持ち、進んで観察したりえさをあげたりすることができる。 「ゆきやおひのふしぎ」 ・寒い日に雪や雨で雪や氷を見つけて、その様子を見たり、それらを眺めて楽しみながら、雪や氷の結露や不思議さを感じさせる。また、自分たちで氷を作る工夫をして、冬の寒さの中で楽しみながら遊ぶことができる。						

大単元計画「とびだせ たんぼたんけんたい」

(1) 全体計画 (38時間扱い)

小単元名	目標 (○) 及び主な学習活動	時間
なかよくなりたいね	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上田学区の人や自然、社会にふれ慣れ親しむことができる。 ○ 自分たちが立てた計画をもとに、安全に気をつけて探検することができる。 1 自分たちの学区の様子について話し合い、探検の計画を立てる。 2 学区をみんなで探検し、地区によって様子が異なることに気付く。 3 自分がもう一度行ってみたい地区にグループ毎に行って探検する。 4 探検して気付いたこと、みんなに知らせたいことを発表する。 5 探検して気付いたことや自分・友達のよさを振り返る。 	18
まちなぞなぞしりたいね	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの生活の場である地域の公共施設を見学したり調べたりして、それを支える人がいることが分かり、それらを大切に、安全に気をつけて正しく利用することができるようにする。 1 上田のまちを探検し、そのことをもとになぞなぞ作りをするを知る。 2 行ってみたい場所ごとのグループで、上田のまち探検の計画を立てる。 3 まち探検の準備・練習をする。 4 グループに分かれ探検する。 5 探検をもとに、なぞなぞ作りをする。 6 上田のまちなぞなぞ発表会をする。 7 探検や発表会をして気付いたことや自分・友達のよさをふりかえる。 	20

小単元計画「まちなぞなぞしりたいね」(20時間)

主な学習活動	支援 (○) 留意点 (・)	時間
1 上田のまちを探検し、そのことをもとになぞなぞ作りをするを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真やビデオなどの映像から、地域の施設についてのなぞなぞを子どもたちに出し、これからの単元についての見通しをもたせる。 ・ 利用した経験をもとに、どんな施設で、どんな人たちが利用しているか考えさせる。 	1
2 行ってみたい場所ごとのグループで、まち探検の計画を立て、準備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 探検する場所をいくつか提示し、自分が行きたいところを選べるようにする。 ・ 探検する目的をしっかりとって行きたいところを選ぶようにする。 ・ 1学期のまち探検をもとに、探検するグループに分かれて相談をする。 ・ 計画を立てるときには、施設の様子だけでなく、働いている人や利用している人にも目を向けるよう声をかける。 	3

	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で交替しながら話し方や質問の練習をさせ、どの子も意欲的に取り組めるようにする。 ・ 質問する内容などに合わせ、探検カードの書き方を工夫させる。 ・ 話し方を聞き、丁寧な言葉で話したり、訪問の説明をしたりできるように声をかける。 ・ 練習の成果を聞いてあげ、自信をもって取り組めるようにする。 ・ 訪問先と打ち合わせを行い、配慮してほしいことや指導してほしいこと褒めてほしいことなどを伝えておく。 ・ 学習ボランティアと打ち合わせを行い、注意してほしいことや子どもたちが興味関心をもっていたことについて教えて欲しいことなどを伝えておく。 	
3 グループに分かれ探検する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習ボランティアの方にお願ひし、探検の様子を写真などに記録する。 ・ 自分が発見したこと・感じたことなどをなぞなぞにするという目的をしっかりと探検させる。 ・ 探検に行くときには、安全に注意すると共に安全に関する標識などにも気をつけさせる。 ・ 働いている人や利用している人とのかかわりがもてるよう声をかける。 ○ 1回の探検で不十分な場合は2回・3回と探検させ、人とのかわりが十分もてるようにする。 	6(8)
4 探検をもとになぞなぞ作りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめの計画を立てることで、見通しをもって活動できるようにする。 ・ 伝える相手である1年生を意識して、わかりやすくまとめる工夫を考えさせる。 ○ なぞなぞだけでなく、探検で発見したこと、すばらしさを伝えることができるようにする。 	4
5 発表会をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生同士でも聞き合う場を設け、自信をもって発表会に臨めるようにする。 ・ ゆっくりはっきり説明し、1年生にもわかるようにする。 ・ 他グループの発表のよさにも気付かせるようにする。 ○ それぞれの発表を聞き、自分たちの地域に親しみがもてるようにする。 	2
6 単元全体のふりかえりをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ お世話になった人や施設のために自分ができることを考えさせ、感謝の気持ちをもてるようにする。 	2

	<ul style="list-style-type: none">・ 単元全体をふりかえり，できるようになったことやがんばったことをまとめ，自分の成長に気付くことができるようにする。○ 友達のふりかえりを知り，友達の成長やよさについても認めることができるようにする。	
--	---	--

4 本時の指導

(1) 目標

- ・探検場所のよさや働いている人の様子が分かるような説明を考えることができる。

(2) 展開

	活動の流れ・予想される子どもの活動	支援 (○) 留意点 (・) 評価 (◎)	備考
導入 5分	<p>1 前時までの活動を想起する。</p> <p>2 本時の活動を確認する。</p> <p>たんけんした場所のじまんなぞなぞを作ろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの進行状況を確認する。 ・短時間で行い、活動時間を十分に確保できるようにする。 ・手順を確認しながら、活動の仕方を押さえるようにする。 ・スペシャル説明の中に、調べてきたことや思ったことを入れて詳しく書くようにさせる。 	教師が出したなぞ
展開 37分	<p>3 自分が選んだなぞなぞのスペシャル説明を考えて書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○進んでなぞなぞやその説明を考えている子どもの活動をほめる。 ○なかなか取り組めないでいる子には、ふりかえりカードや学習ボランティアの方々からの情報をもとに声をかけたり、友達作品からヒントを与えたりする。 ○なぞなぞ作りの中で、働いている人や利用している人、施設の役割についてなどを説明できるように声がけする。 ・友達のアドバイスを参考に、スペシャル説明をよりわかりやすく書かせるようにする。 ・テープや写真などを、子どもたちが使えるように準備しておく。 ・スペシャル説明を書き終わった子には、なぞなぞ作りをさせる。 ◎自分の作ったなぞなぞに探検場所のよさや働いている人の様子が分かるような説明を付けることができる。 	カード 写真 画用紙 色画用紙 カラーペン セロテープ
終末 3分	<p>4 なぞなぞ作りの進行状況を確認し、次時の活動を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時には、なぞなぞを作り、発表練習をすることを伝え、見通しをもたせる。 	

評価規準と判断基準表（指導計画第4次）

時	関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
1	<p>◎探検して質問したことやメモしたことをもとに、進んでなぞなぞを考えることができる。</p> <p>A 探検でのメモをもとにたくさんなぞなぞを作ろうとしている。</p> <p>B 探検でのメモをもとになぞなぞを作ろうとしている。</p> <p>C 教師の支援を得て、なぞなぞ作りをしている。 (なぞなぞカード)</p>		
2		<p>◎自分の考えたなぞなぞに合わせた表現方法を考えることができる。</p> <p>A より適切な表現方法を自分で選ぶことができる。</p> <p>B 自分で選ぶことができる。</p> <p>C 友達の表現方法を紹介して考えさせる。 (なぞなぞカード)</p>	
3		<p>◎自分の作ったなぞなぞに探検場所のよさや働いている人の様子が分かるような説明を付けることができる。</p> <p>A なぞなぞの説明の中によさや特徴を考えて書いている。</p> <p>B 特徴についてふれている。</p> <p>C ふりかえりカードを手がかりに考えさせる。 (スペシャル説明カード)</p>	
4	<p>◎調べてきたことや分かったこと楽しかったことなどをもとに、上田のまちのなぞなぞ作りを進んで行うことができる。</p> <p>A 自分の計画に沿って、作業を進めている。</p> <p>B 友達に相談しながら行う。</p> <p>C 教師の支援を受けながら取り組んでいる。 (活動の様子・表情)</p>	<p>◎自分の考えたなぞなぞに合わせて表現することができる。</p> <p>A 相手を意識して分かりやすいように表現している。</p> <p>B 相手を意識して表現している。</p> <p>C 相手意識をもたせて、表現を工夫させる。 (発表練習の様子)</p>	<p>◎友達の出したなぞなぞから地域の施設などの役割や働いている人の様子に気付く。</p> <p>A ふりかえりカードに友達のなぞなぞから分かったことや思ったことについて書いている。</p> <p>B ふりかえりカードに友達のなぞなぞから分かったことについて書いている。</p> <p>C 友達の発表を想起させる。 (ふりかえりカード)</p>